解　説

第22章 災害・事故

火災

発生件数は増加、死傷者数は減少

 火災件数、死傷者数

 大阪府危機管理室によると、令和4年の火災件数は1,832件で、前年に比べ58件(3.3%)増加しました。おおよそ1日に5件、5時間に1件発生したことになります。

死傷者数は441人で、前年に比べ2人(0.5%)減少しました。

 発火源別では、たばこやマッチ等それ自身が発火する「火種」によるものが641件(全件数の35.0%)と最も多く、次いで「電気による発熱体」が491件(同26.8%)、「ガス・油類を燃料とする道具装置」が328件(同17.9%)です。

自然災害

[第22章2、5表より]

人的被害はなし、住家被害は減少

消防白書等によると、令和4年の風水害による被害は、人的被害がなし、住家被害が48棟(一部破損

6棟、床上浸水5棟、床下浸水37棟)です。

 自然災害による人的被害、住家被害

[第22章13表、総務省消防庁「消防白書」、大阪府「大阪府災害年報」より]

労働災害

死傷者数は大幅に増加

 産業別労働災害による死傷者数

 労働者死傷病報告によると、令和4年の労働災害による死傷者数(死亡・休業4日以上のもの)は2万2,742人で、前年に比べ11,443人(101.3%)と大幅に増加しました。

産業別では、「製造業」が2,135人(構成比9.4%)と最も多く、次いで「商業」1,742人(同7.7%)、「陸上貨物運送業」1,360人(同6.0%)です。

[第22章3表より]

交通事故

発生件数はほぼ横ばい、死者数は微増

大阪府警察本部によると、令和4年の交通事故発生件数は2万5,509件で、前年に比べ121件(0.5％)増加し、平成17年から続いた17年連続の減少が止まりました。死者数は141人で、前年に比べ1人(0.7%)増加しました。

 交通事故発生件数、死者数

[第22章9表より]

令和4年の自転車関連の事故件数は8,855件で、前年に比べ25件(0.3%)減少しました。

そのうち対歩行者事故件数は371件で、前年に比べ50件(15.6%)増加しており、10年前(平成24年)の約1.4倍です。

 自転車事故件数、うち対歩行者事故件数

[第22章9表より]

※自転車関連の事故件数：「自転車が第一当事者の場合の件数」＋「自転車が第二当事者の場合の件数」－「自転車同士の件数」